

# ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

<b>1. 基本情報</b>						
組織名・所属	地元学ネットワーク					
役職	主宰					
氏名	吉本 哲郎	ふりがな	よしもと てつろう	生年	1948年	
連絡先住所	〒867-0116	熊本県水俣市薄原1163				
電話番号	0996-67-1659	メールアドレス	yoshimoto_jimotogakunet@yahoo.co.jp (■を@に変えて下さい)			
<b>2. 経歴・取組内容、取組分野等</b>						
主な経歴・受賞歴	<p>&lt;経歴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆1971年 宮崎大学農学部卒、水俣市役所入職</li> <li>◆1994年 国土庁地域振興アドバイザー</li> <li>◆1996年～ 地元学ネットワーク主宰</li> <li>◆1997年～1999年 熊本大学</li> <li>◆2008年 水俣市役所(2008年退職)</li> <li>◆2008年～2011年 水俣病資料館企画アドバイザー</li> <li>◆2009年～ 鹿児島大学生涯学習教育研究センターリサーチアドバイザー</li> <li>◆総務省 地域力創造アドバイザー (地域人材ネット登録)</li> </ul>					
主な取組内容、実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1991年より水俣を水とゴミと食べ物にどこよりも気をつける環境都市にしていく取り組みを住民協働で展開した。その中で住民自らが調べ考え、水俣をつくっていくことを提唱し、全国環境首都コンテストでトップの評価を受けるまでになった。また、環境と健康に配慮したものづくりを進める人たちに環境マイスターという称号を送り、環境健康ものづくりを促進した。さらに、予算ゼロで源流にある限界集落を「村丸ごと生活博物館」とし、集落の元気を作って行った。</li> <li>◆ これらの取り組みが岩手県の「いわて地元学」や三重県の「三重ふるさと学」になって広がり、三重県の大台町浦谷地区や大紀町の野原地区、宮崎県の川南町の鍋合戦、沖縄県糸満市の生活博物館・米須地区などで元気になっていくこととなった。</li> <li>◆ 村丸ごと生活博物館 頭石地区(約45世帯)取り組み開始2002年以降、大川・越小場・久木野地区に広がり、訪れた人たちは海外からもあり、頭石地区ではこれまで5,000人以上、一人あたりの案内料1,000円と食事1,500円の1割を村に還元。それが50万円を超えるに至る。また、JICA研修も毎年受け入れるようになった。</li> </ul>					
取組分野	1	観光振興	○	7	住民参加・協働	
	○	産業振興	○	8	イベント交流	
	○	過疎地域・限界集落の振興	○	9	食品流通	
		中心市街地活性化	○	10	環境	
		まちづくり景観		11	NPO・ボランティア	
	○	農林水産品の開発・ブランド化		12	その他( )	
<b>3. 関連ホームページ</b>						
	名称	アドレス				
	地元学	<a href="http://green.mond.jp/jimotogaku.html">http://green.mond.jp/jimotogaku.html</a>				

4. ふるさと財団での実績	
地域再生マネージャー	◆2011年度 沖縄県糸満市「農村地域再生発見」
地域再生セミナー講師	
環境整備型マネージャー	
短期診断マネージャー	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchiikisaiseiM-houkokusho.pdf</a>
6. 写真・ひとことPR	
	<p>&lt;ひとことPR&gt;</p> <p>地元学は町や村の元気づくりを応援していく。人も自然も経済も元気な地域づくりである。</p> <p>自分たちの地域を自分たちで元気にしていくように応援する。そのために、地域の持っている力、人の持っている力を引き出していく。驚いて質問して引き出していく。自分たちでやれる力を身につけるようにしていく。そうでないと地域は元気にはなれないからである。</p> <p>地元学は時間がかかる。それは人が育つ時間を必要としているからである。</p>